

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.199)

1. 屋上エレベーター機械室のケーブル電線が燃えた事故のご報告

10月5日(月)の10時頃に、屋上にあるNo. 4エレベーター機械室において、エレベーターをコントロールする電気設備のケーブルが燃え、当事業所の従業員が消火器で消火しました。このことは、直ちに豊田消防及び豊田市にご連絡しました。

この火災による焼損部分はエレベーターをコントロールする電気設備の一部とケーブルで、他への延焼はありませんでした。また、この事故に伴うPCBの漏洩はありませんでした。

メーカーによる調査で、火災の原因はエレベーターをコントロールする電気設備の一部が故障したことによるものと推定されたため、部品を交換し、エレベーターが正常に稼働することを確認しました。現在、部品故障の原因をメーカーで調査中です。

また、今後こうした事故が再発しないように、メーカーと改善対策を協議しております。

2. 官公庁による豊田PCB処理事業所視察

10月6日(火)に愛知県、20日(火)に静岡県と静岡市による視察が行われました。



愛知県の視察では、環境局と議会事務局の5名の方が来場され、廃棄物の受入から処理完了までの処理の流れを視察されました。来月には、愛知県議会の県民環境委員会の視察も予定されています。(左は情報公開ルームで当施設の説明を受けられる様子)

静岡県と静岡市の視察では、静岡県庁廃棄物リサイクル課から2名、PCB廃棄物保管事業者の直接の担当窓口である地域(賀茂・東部・中部・西部)健康福祉センターから7名の計9名の方が、静岡市からは廃棄物対策課3名、計14名が参加されました。

視察時の質疑応答では、「PCBの分解には触媒を用いるのか」、「コンデンサーの処理費用と補助割合」等様々な質問をいただきました。(右は事業所長から当施設の説明を受けられる様子)



3. 地域協議会の開催

9月25日(金)に、豊田PCB処理事業所周辺自治区の区長の皆様や、豊田市環境部廃棄物対策課長様にご出席いただき、令和2年度JESCO豊田地域協議会を開催しました。

この地域協議会は、周辺自治区の皆様への情報提供と意見交換の推進を目的に、平成25年度から開催し、今年が8回目となります。対象とさせていただいているのは、三軒屋、樹木、本地新田、深田山、広久手、広久手町、土橋の7自治区です。

JESCOから、豊田事業所の操業状況及びPCB廃棄物処理の進捗状況、PCB廃棄物の適正処理推進に向けた環境省の取組を報告させていただきました。



その後、PCB処理施設をご見学いただき、PCB廃棄物を安全確実に無害化処理する工程などをご案内させていただきました。

最後に、自治区長の皆様方との意見交換を行いました。

自治区長様からは、ゲリラ豪雨等の浸水対策のご質問をいただき、隣接の逢妻男川の護岸より高くかさ上げして施設が建設されていることや、施設内への侵入を防ぐ設備などについてご説明いたしました。

蛍光灯安定器のご質問では、PCBを含む安定器の廃棄物処理は北九州事業所で行いますが、新たに発見された際は、豊田事業所に相談や問合せいただきたい旨をお願いしました。

また、PCB廃棄物の計画的処理完了期限内での処理完了を見込んでいることなどを説明し、ご理解をいただきました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

